



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通 6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 下町 豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部 60円

7月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【福音宣教】 教会で奉仕する司祭
【日本の教会】 難民・外国人労働者

福岡教区 全司祭研修会

み言葉に奉仕する司祭

教区内の全司祭による研修会が熊本県南関のホテルで行われた。今年は「み言葉に奉仕する司祭」をテーマに聖書に精通する講師に話してもらい、司祭としてみ言葉にどのように接すべきかを研修した。

6月19日(火)から21日(木)まで行われた教区内司祭研修会。約50人が参加し、「み言葉の祭儀」で始まった。

1日目は宮越俊光氏(司教協議会典礼委員会秘書)による講話があった。題は「聖書協会共同訳聖書の翻訳方針、経過などについて」。宮越氏は、「現在、原文からの新翻訳作業がカトリックとプロテスタント共同で行われている。今までの聖書の言語の統一性を改め、典礼において相応しい朗読がなされ、現代人に分かり易く、格調の高さを維持したものにしたいという願いのもとで進められている。カトリック側としては、司教団から認められなければ公に使用できず、まだ手にするまでには時間を要する」と



分科会のグループで分かち合う司祭たち

話す。その後、晩の祈りを唱え、夕食となった。

翌日は、朝の祈りと朝食を済ませた後、第2と第3講話がミサをはさんで和田幹男神父(大阪教区司祭・日本カトリック神学院講師)によって行われた。題は「教会生活の中心である聖書」。師は、「教会の母として仰がれている聖

母マリアは第2バチカン公会議による教会憲章で存在を確固たるものにされた。今も尚、神の母のみならず教会の母としてイエスと共に見守っている」。また、「教会の教導のためにはまず聖書を中心に考えるべきである。そのために伝える側は聖書に精通するように努め、理解したものを分かり易く相手に話していくようにすべきである」と話した。

その後の分科会では、聖書との関わりが司祭の宣教・司牧生活にどのように影響を及ぼしているかが問われた。晩の祈りの後に懇親会があり、司教と司祭団、司祭同志の融和と一致が垣間見られた。

最終日の第4回目の講話にはレナト・フリリッピ二神父(聖ザベリオ宣教会/玉名・荒尾教会)と手取教会の3人の女性信徒が立ち、「霊的読書、分かち合い等の実践発表」を行った。レナト神父は、これまで関わった教会で用いた

さいたま教区に新司教 大阪教区に補佐司教2人任命

教皇フランシスコは、6月2日(土)、2013年以来、長らく司教空位となっていたさいたま教区の新しい司教に、サレジオ修道会の現管区長、山野内倫昭神父(62歳)を任命する、と発表しました。さいたま教区の司教叙階式は9月24日(月・祝)に行われます。

さらに教皇は、前田万葉大司教が枢機卿に任命された大阪教区のために、2人の補佐司教を任命しました。1人は、クラレチアン宣教会のホセ・アペイヤ神父(68歳)。もう1人は、属人区オプス・デイのメンバー、酒井俊弘神父(58歳)です。大阪教区の司教叙階式は枢機卿親任感謝ミサを兼ねて7月16日(月・祝)に行われます。

各司教叙階式の時間・場所の詳細についてはカトリック中央協議会ホームページ等を参照ください。

九州北部豪雨から1年

2017年7月5日から6日に福岡県と大分県を中心とする九州北部で発生した集中豪雨から1年が経ちます。

今もなお、悲しみ、苦しみ、不安のうちに生活を送られている方のために祈ります。キリストが共にいてくださることを、私たちが証しできますように。(次号に被災地で活動を継続されている方の報告を掲載予定。)



崎津教会を中心とした崎津集落(写真提供:小林健浩氏)

天草3教会(崎津・大江・本渡)の主任司祭である渡辺隆義神父に、世界文化遺産登録が教会にとってどのような意味をもつのか、2回にわたって寄稿していただきます。

「おしくも」の聖歌(カトリック聖歌集407番)が6月3日(日)、本渡教会(主任渡辺隆義神父)の聖堂に力強く響いた。1614年に天草で殉教した福者アダム荒川の記念ミサで歌われたもので、地元の本渡、大江、崎津の各教会をはじめ、アダム荒川の出身地である長崎県からも山田聡神父(島原教会主任)や純心聖母会のシスター、信徒らが参加、約65人が遺徳をしのいだ。

金貞根神父(天草3教会協働司祭)がミサを司式。「殉

天草・崎津教会を中心とした集落が世界遺産に 信仰共同体が新しい挑戦へ

渡辺隆義神父

て世界文化遺産に登録されることになりました。

住民からは地域の活性化につながるかと期待する声が多く聞かれます。一方で、「日常生活に支障をきたす」と世界遺産にすることに反対の方も

おられます。たとえば、観光客が押し寄せて車道がふさがれる。増えるゴミはどうする

のか。騒音に悩まされる。家に鍵が必要ないこれまでの安全が脅かされる、という不安

の声があります。崎津教会でも祈りの場である聖堂内の静けさの確保が今以上に難しくなる。教会の敷地内に信

者が駐車しにくくなるという事態も発生します。実際、世界遺産登録の勧告が出た春の

「おしくも」の聖歌(カトリック聖歌集407番)が6月3日(日)、本渡教会(主任渡辺隆義神父)の聖堂に力強く響いた。1614年に天草で殉教した福者アダム荒川の記念ミサで歌われたもので、地元の本渡、大江、崎津の各教会をはじめ、アダム荒川の出身地である長崎県からも山田聡神父(島原教会主任)や純心聖母会のシスター、信徒らが参加、約65人が遺徳をしのいだ。

金貞根神父(天草3教会協働司祭)がミサを司式。「殉

時の話題

私たちから社会への発信

ここ数年で、主日のミサに集う外国人の数が急激に増加したのは福岡だけではないと思います。現在、留学生、技能実習生、就労者など、信者・未信者の区別なく教会を訪れるようになってい

います。在留期間、国籍も多様化し、外国人の抱える問題も多岐にわたります。そのような中で益々受け入れ側日本人の知識・理解不足による関わりがままずが浮き彫りになっているようにも思います。ある留学生の賃金未払

いの件で、日本人が労働基準監督署にその留学生を伴って行きました。その結果、賃金は支払ってもらえましたが、この留学生に活動制限違反があり帰国することになりました。この結末を皆さんはどう思われますか?決して間違った支援ではありませんが、本人の望んだ結果ではないことは間違いありません。相談の中には、知識なくして解決できないことがあることを知る必要があります。「専門知識がないから関わらない」ではなく、問題を抱える人に寄り添い、専門知識のある人と連携して関わってみてはいかがでしょうか。

また、私たちは「生活・文化の違い」をもっと理解する必要があります。言葉一つにしても、「曖昧」な日本(語)は外国人にとって非常に分かりにくいものです。「優しく丁寧」により、「短くはっきり」と「伝えるほうが外国人にとっては親切な場合もあります」。

これから益々外国人が増加し教会を訪れることも多くなると思います。私たちが外国人を生活者として自立できるように支援することを改めて考えることで、私たち教会が社会に対する多文化共生のあり方を示していくことができるのではないかと思います。

なことはありません。福音宣教のための具体的なビジョンと行動がなければ世界遺産であることはマイナス面が大きくなります。「受け身の教会から発信する教会へ」。崎津教会共同体に課せられる新たな使命への挑戦は今始まったばかりです。

「信徒会館用の鍵が見当た



「信徒会館用の鍵が見当た

福岡教区 本部会計 2017年度会計報告

<収入の部>		
科目	H29年度決算	教区本部会計とは、小教区から送金された金銭をもとに、教区としての活動をまかなう会計です。
【宗教活動費】	73,716,992	
【援助金収入】	24,321,435	
神学校援助金(神学校費)	24,321,435	一口300円で集めたお金は、全部本部会計に送金。小神学生、コレジオ、大神学生のための献金です。ちなみに、神学生養成費支出は、32,183,690円でした。
【寄付金収入】	1,638,000	
一般寄付金収入	938,000	
指定寄付金収入	600,000	目的が指定されている寄付金
司祭寄付金収入	100,000	
【特別献金】	716,494	
広報活動援助献金	681,390	教区報の広告、有料購読料収入
その他特別献金	20,104	
臨時特別献金	15,000	
【分担金収入】	47,041,053	
小教区分担金収入	40,773,891	教会維持費とミサ献金の合計の15%を本部へ
租税分担金収入	5,755,712	
その他分担金収入	511,450	教区ハンドブック代としての献金
【資産運用収入】	1,496,411	
受取利息収入	52,541	預金利息
雑収入	451,166	ミサワイン、書類手数料立替
内部雑収入	821,474	司教を通しての寄付が主なものである
電柱敷地料収入	156,230	
資産利用料収入	15,000	
【繰入金収入】	1,505,000	
本部会計繰入金	1,505,000	
【経常収入合計A】	76,718,393	

<指定献金>		
科目	H29年度決算	
【指定献金合計】	42,078,397	
世界こども助け合いの日	3,630,088	
四旬節愛の献金	3,189,564	
聖地エルサレム献金	176,256	
広報の日献金	1,238,989	
聖ベト口使徒座献金	1,254,607	
世界難民移住移動者献金	1,511,686	
世界宣教の日献金	1,197,846	
宣教地召命促進の日献金	1,330,099	福音宣教省事務費献金(大使館援助)をこの献金から
世界召命の日	34,000	
カテドラル献金	681,543	プールにおいて、補修改修の際にカテドラルに送金
臨時指定献金	27,293,719	被災地支援関連で、今期、各ペースに30万円を寄附

<支出の部>		
科目	H29年度決算	
【宗教活動費】	11,347,216	
祭儀行事費	2,421,418	聖香油ミサ、叙階式(去年より出費が多い部分)、教区の日などの教区行事、大使の熊本訪問経費も含む
司祭研修費	1,797,209	司祭総会、研修会、教区司祭集会、教区司祭黙想会
委員会活動費	1,314,729	教区の諸部門、諸委員会の活動費
宣教広報費	3,427,252	教区報印刷、送付、インターネット費用など
教育養成費(青少年)	1,602,420	AYD支援 会議交通費 シスター日本語学校代など
図書資料費	339,530	
会議費	87,343	
諸会費	54,000	
慶弔費	303,315	
【その他の宗教活動費】	3,319,925	
中央協議会分担金	2,940,000	カトリック中央協議会へ
教皇庁分担金	379,925	教皇庁大使館へ
【司祭養成費】	346,401	
司祭養成費	346,401	司祭日本語学校代、WYD司祭参加支援金
【神学生養成費】	32,183,690	
大神学生養成費	16,508,734	大神学院分担金など
コレジオ生養成費	8,607,903	コレジオ分担金など
小神学生養成費	6,812,038	小神学校分担金など
その他神学生養成(召命活動)	255,015	
【助成金支出】	671,348	
小教区助成金支出	500,000	指定されている寄付金の支出の一部
その他	171,348	
【管理運営費】	25,810,065	
消耗品費	694,899	
通信費	926,375	
旅費交通費	2,166,878	委員会の出張旅費なども含む
自動車諸費	1,281,462	
水道光熱費	2,644,018	
交際接待費	438,032	
修繕費	771,668	
賃賃料	2,682,099	コピーなどのリース料
報酬委託手数料	4,986,498	会計事務所、顧問弁護士、社労士など
租税公課	6,846,300	消費税、法人税を含む
損害保険料	2,353,350	火災保険と、教区司祭の医療保険、教区賠償保険
雑費	18,486	
【人件費】	52,781,857	
司祭給与	17,125,000	本部、司祭の家、小教区など、司祭
職員給与	29,134,000	愛の十字架会、職員給与
法定福利費	6,187,479	社会保険や労働保険の事業主負担分
福利厚生費	335,378	社会保険や労働保険の事業主負担分
【経常支出合計D】	126,460,502	
【当年度経常収支差額A-D】	-49,742,109	

2017年度 会計報告

文責・青木悟神父
(教区本部会計)

2017年度教区本部会計が司教顧問会・教区責任役員会で承認されましたのでご報告いたします。教区本部会計は小教区分担金(教会維持費とミサ献金の15%)と神学校援助献金が主な収入で、教区としての活動をまかなう会計です。

①小教区分担金は、昨年度より140万ほど減少しています。自然災害、美野島司牧センター建築献金などの影響もあったものと考えています。少子高齢化の中で維持費なども厳しくなっている中、ご協力をまず感謝いたします。教区の活動支出では、叙階式関連で支出が増えています。全体としては、支出は減っています。ただし、司祭を含め人件費は去年と同程度の支出です。

②神学校援助のための献金収入は、2千430万円ほどで、昨年度より140万円ほど減少しています。神学生養成に関する収支としては、3千220万円ほどの経費が

掛かっているもので、790万円ほどの不足となっています。召命が増えれば経費も増えるのですが、神学生養成には教区として力を注ぎたいところです。

③臨時指定献金は災害支援のための特別献金です。九州北部豪雨被災者支援のために2千470万6738円献金がありました。2千58万9471円は被災者支援としました。残金の411万7267円は、今後、自然災害などの備えとすることが司祭評議会、教区責任役員会でも承認されています。

④カテドラル献金は毎年、福岡教区司教座教会献堂記念日にあわせて行っています。本年度は、68万1543円でした。カテドラル(大名町教会)は築後32年ほどになり、補修計画が策定され進められています。今後10年かけて、2億5千万ほどかけて補修・改修されます。大名町小教区の信徒の方々だけではなく、カテドラルは「教区の母なる教会」として、教区全体で支えていくことも求められます。教区中心の行事も執り行われています。教区民の皆さまには、カテドラル献堂記念日にあたっての献金日などに、思い起こしていただ

考えています。

東日本大震災被災者のための献金も締め切っています。残金は、6万85000円の支援金がありました。残金は、388万7316円となっています。東日本大震災の支援は教会管区毎の支援から日本全体での支援と形は変わってきていますが、継続しています。また、福岡教区としても福岡家族支援活動が継続して行われています。

き、これからもご協力をよろしくお願いいたします。

⑤美野島司牧センター改築は、別会計としています。コロナパン会、パリ外国宣教会、カリタスジャパンなど、教区外からの多大な支援に支えられて、1億円以上の支援をいただきました。残り6千万円近い資金が必要となっています。皆様方のご理解とご協力に感謝いたします。これから何よりもその活動をご理解いただき、ご協力をよろしく

お願いいたします。

2017年度の教区本部会計は、5千万円弱の赤字となりました。予算でも、既に4千700万円の赤字の予想となっていました。支出は若干減少していますが、収入はそれ以上に減少しています。全体として経常収支の改善はできなかったのが現状です。最後になりましたが、神父様方、教区の皆さま、また、会計事務を担当されている方々の物心両面のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

佐賀地区信徒研修会

神のいつくしみと私たちの応え方



森山神父(右)の講話に耳を傾ける信徒ら

5月27日(日)、佐賀教会聖堂にて佐賀地区信徒研修会(佐賀地区宣教司牧評議会主催)が開催された。福岡コレジオ院長の森山信三神父を講師に迎え、「神のいつくしみと私たちの応え方」をテーマに話をいただいた。

森山師はまず、日本語の聖書で「あわれみ」や「いつくしみ」と訳されるヘブライ語とギリシア語における元の単語の意味を説明し、イエスが明らかにした父なる神の姿は「どんな人もゆるし、包み込むあわれみ深い父」であることを示された。そして教皇フランシスコによる、いつくしみの特別聖年公布の大勅書「イエス・キリスト、父のいつくしみのみ顔」(2015年)から引用して、父なる神のいつくしみに対する私たちの応え方を問いかけ、現代社会の中で単なる善意や無償の奉仕だけでなく、助けを必要とする人々に対する責任を持った行動が必要であると語った。

講話の後に、佐賀地区宣教司牧評議会の稲葉人志副会長が「森山神父様の話は分かり易く胸を打ちました。災害支援を含むボランティアなど、いかに行動に移すかを考える良い機会になりました」と挨拶し、研修会を締めくくった。

「教区の日」報告書より③ 北九州地区 湯川教会 心の扉をひらこう

2017年度教区年間テーマは「いつくしみから踏み出す第一歩」。湯川教会では「兄弟的交わりのために、心の扉をひらこう」という活動方針を定め、実践に努力した。それは、心を開いて他者に向け、様々な状況にいる兄弟姉妹を包み込み、交わりを通して神のいつくしみを味わうということである。

取組みとして、まず、教会内の兄弟姉妹との霊的な向上を見据えての交わりを持つた。ミサの大切さを深く知り、神のいつくしみ、愛を味わう、霊的書物(例「カトリック教会のカテキズムの要約」)を読み学んだりして神の導きを共に感じる、黙想会で信仰の豊かさを求め、「いつくしみの実践」を図るなどである。

教会外に対しては、東日本大震災の被災者支援としてボランティアに赴く信者に献金を託したり、熊本地震被災地の仮設住宅を毎月数人で訪問したり、九州北部豪雨被災地への募金を送ったり、佐賀地区の伊万里のトラピストや伊万里教会を巡礼したりして心の交わりを深めた。

モンゴルから帰郷した湯川教会出身のシスターから宣教活動報告をしてもらい、寄付を募ったことも付記したい。その他の活動としては、北九州地区信徒協主催のイベントや神学院祭、教区の日への参加、ホームレス炊き出し支援活動、年末街頭募金などにも力を入れ、絶えず神のいつくしみを伝えることを意識し、実践に励んできた。

【月例黙想会】
期 日：7月14日(土)17時～15日(日)15時
8月は休会
指導者：染野治雄 神父(御受難修道会)
費 用：8,700円(税込・指導料含む)

◆黙想会の申込締切は開催の一週間前まで ◆詳細はお問合せください

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com

【奉獻生活者のための黙想会】
期日：7月21日(土)夕～28日(土)朝
指導：染野治雄神父
費用：56,000円

ミサ用ワイン

ヴァイノ デ ミサ
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

「若者、信仰、そして召命の識別」③ 現代社会に生きる若者に出会う

本コラムも3回目となった。そして、「私は若者の何を知っているのか…」との反省を深める日々を過ごしている。福岡の天神にあふれている若者たち、バスや街中ですれ違う学生たち…。彼らは何を喜びとし、何に悩み、どこに居場所をみつけ、何を求めて生きているのだろうか。

6月19日にはシノドスのための「討議要綱」(Instrumentum Laboris) が発表された。これは、約300人の若者が集い1万5千人近くがフェイスブックで参加した準備会議の報告書や、オンラインアンケートに対する10万人近くの青少年の回答、地方教会からの回答書、多くの資料を基に作成されている。準備文書、準備会議の報告書、そして今回の討議要綱、いずれも徹底して「若者に耳を傾ける」ことの大切さを示し、若者の声を起点に教会の司牧のあり方を探ろうとしている。

準備会議の報告書は3部構成となっているが、第1部では現代社会に生きる若者の現状について纏められている。この報告書が述べているように、それぞれの若者の現状は異なり、一般化することはできないが、若者を理解するための手引きとして有用である。

若者の現状に関して考察されている項目は以下の5点だ。
①人格の形成：家族、地域、仲間、社会の中で若者はどのように「自己」を探究しているか。
②他者との関係：グローバル化、多様化が進む世界のなかでの可能性と複雑さ。
③若者の未来：何を求め、夢見ているか。帰属意識、社会との関わりは？傷の癒しについて。
④テクノロジーとの関係：技術革新の功罪、インターネットの可能性と弊害、生命倫理について。
⑤人生の意味と目的：自分の人生と「超越する存在(神)」との関わり、組織としての宗教との関わり、恋愛・結婚・妊娠について、女性の役割。

このように列挙すると難題に感じるかもしれないが、「若者たち」を分析するのではなく、「(一人の固有の) 若者に出会う」ことの積み重ねが、若者を理解することにつながると思う。2ヶ月ほど連絡がなかったSくんから、「お久しぶりでーす!」とLINEメッセージが届いた。嬉しかった。そして、彼とをもって「出会いたい」と思った。(C.H.)

熊本地震被災者支援 田植え 被災者の元氣と生きがいを支える



今年、梅雨に入り、熊本までの道中は局地的に豪雨となり、天候が心配されたが、現地に入ると、時折晴れ間の見える絶好の田植え日和となった。福岡地区、熊本地区さらに下関や遠く八代から参加された方で総勢80人ほどとなった。一行は、現地西原村の方々が作ってくださった西原米のおにぎり、総菜等をいただき、田んぼに出かけた。

号令にあわせ整列し田植えをする参加者ら

6月10日(日)、熊本県阿蘇郡西原村支援の田植えが行われた。この田植えは、教区災害被災者支援室(室長 山信三神父)主催で、熊本地震被災後から続けられており、今年で2回目となった。昨年は、西原村で収穫されたお米を教区内外の信徒の皆様、あるいは学校関係者に約6トンを購入していただいた。これによって離農を考えたおられた多くの被災者が元氣と生きがいを取り戻したと

参加者の一人は湧き水から引かれている冷たい水に触れて「このきれいな水で美味しい米が出来るんですね。秋の収穫も参加します」と語った。福岡組は、田植え後、被災者のため、また復興を祈って高遊原教会で主日のミサを捧げ、帰途に着いた。稲刈りは10月13日(土)に予定されている。

東ティモール教員・生徒 上智福岡中高にて研修 すべての子どもたちに学びを



茶道を体験する東ティモールの女子生徒(中央2人)

浦善孝神父(イエズス会・黒崎教会出身)が5月27日から6月3日まで、東ティモール・聖イグナチオ学院よりフランシスコ先生(数学)と高校3年生の女子生徒ジョバニアさん、アリファさんを引率し日本研修として上智福岡中等高等学校に滞在した。

浦善孝神父は、上智福岡中等高等学校(旧泰星)にて2011年度まで11年間教鞭を執り、2012年5月、アジア最貧国の一つである東ティモールに「学びたいすべての子どもたちが、貧富の隔たりなく学べる学校」を設立するミッションで同国に派遣された。2013年1月に聖イグナチオ中等高等学校が開校され、現在約700人が学んでいる。また教員養成の必要から2016年1月には聖ジョアン・デ・プリトール教育大学を開学し、約1000人が学んでいる。浦神父は教頭事

務長として、この2つの学校が独立17年目の東ティモールにおけるパイロットスクールになるように日夜奮闘している。

上智福岡中等高等学校を含む日本の4つのイエズス会中等高等学校は、これまで「聖イグナチオ学院基金」への募金を通して浦神父のミッションを支援してきた。また、昨年は教員数名が東ティモールの聖イグナチオ学院を訪れ研修を行い繋がりを深めてきた。(報告)上智福岡中等高等学校 教頭 船橋巖

ロザリオの園創立50周年と ユニット施設竣工の祝い



新設されたユニット型施設の外觀

5月30日(水)、社会福祉法人聖母の騎士会・特別養護老人ホーム「ロザリオの園」では、ロザリオの園礼拝堂にて、宮原良治司教主式で創立50周年感謝のミサが厳粛に執り行なわれた。行政関係者、工事関係者、地域の代表者、聖母の騎士会役員、カトリック信徒ら約90人が参加し、神の恵みに感謝した。

引き続き同礼拝堂にて創立50周年式典が盛大に行われた。施設長のシスター岳尾千歳の開会の挨拶に始まり、宮原司教、聖母の騎士会理事長シスター富永ミツ子、同会会長シスター西村和子などによ



研修・交流を終え帰路につく一行と見送る上智福岡中高の生徒(右端が浦神父)

学院基金」については聖イグナチオ学院を紹介するHPを参照。(東ティモール 聖イグナチオ学院で検察。浦神父が発信するブログ「ワニ通信 東ティモール」で現地の様子を知ることができる。

る心温まるお言葉、励ましのお言葉を頂戴し、参加者全員で、ロザリオの園50年の歴史と合わせてユニット施設竣工を祝った。途中、「50年の歩み」が上映されると、先輩達の苦労、利用者の笑顔、職員達の若かりし頃を垣間見て、関係者一同、懐かしさと驚き、笑い、感激、感動の輪が広がった。特にロザリオの園の歴代の施設長達の表情が印象的であった。これからも、キリスト教の愛と奉仕の精神に則り、地域になくてはならない施設を目指して、全職員一同、一層努力して行くことを誓って式典を閉じた。

ロザリオの園は、昭和42年、佐賀平野の北端に位置し、北には天山山系の山々を仰ぎ、南に遠く有明海を望むことが出来る素晴らしい環境のこの地にカトリック系の老人福祉施設として佐賀県で最初に設立された。その後、安全・安心な施設として、老人福祉の中心的な役割を担うべく業務を拡大している。(報告)ロザリオの園副園長 堤眞敏

計報

ベアトリス
安藤 静枝 修道女
(幼きイエス会(ニカラパレ))

6月8日に帰天。享年93。
修道生活66年。



☆教皇講話集
キリスト者の希望



2016年の待降節から翌年にかけて行われた一般謁見連続講話。人生の旅路において、神がともにいてくださることへの確信によってキリスト者が得る希望について、旧約、新約両聖書を通して考察し、孤独や苦しみ、満ちた荒れ野を神への信頼をもって力強く歩むべきを語る。

ペトロ文庫発行
価格800円＋税
☆より良き死のために
アルフォンス・デーケン著



旅立つ者にとっても、見送る側にとっても、別れは悲しくつらい。しかし、「良き死」は逝く者からの最後の贈りものとなり、残された者は別れによって新たな価値観に気づき、成長することができる。

ダイヤモンド社発行
税込価格1512円

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 **森山工務店**
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM 10時~PM 5時40分
日・祝日/AM 11時~PM 4時(水曜日定休日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

